

第56期 株主通信

平成28年4月1日 ▶ 平成29年3月31日



業績ハイライト

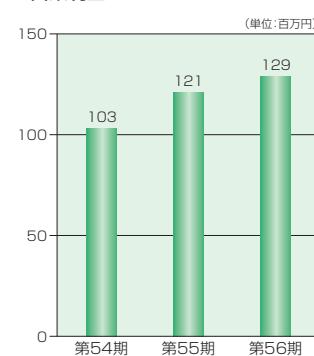
■ 受注高 (単位:百万円)



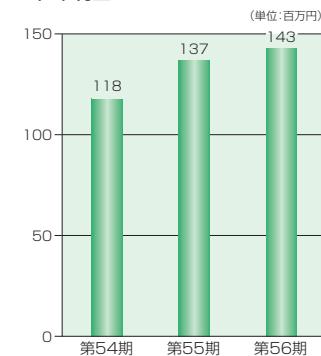
■ 売上高 (単位:百万円)



■ 営業利益



■ 経常利益



■ 当期純利益



■ 総資産



■ 純資産

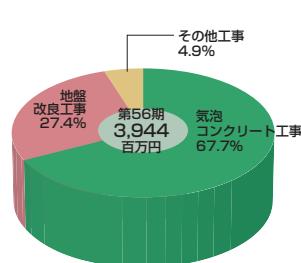


■ 1株当たり純資産



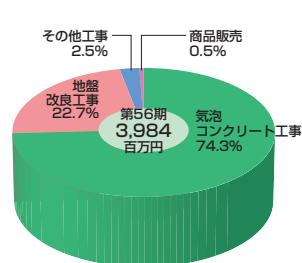
■ 受注高内訳及び構成比

第56期	
軽量盛土工事	1,701
管路中詰工事	341
空洞充填工事	628
気泡コンクリート工事計	2,671
地盤改良工事	1,078
その他工事	193
計	3,944



■ 売上高内訳及び構成比

第56期	
軽量盛土工事	1,645
管路中詰工事	696
空洞充填工事	619
気泡コンクリート工事計	2,961
地盤改良工事	904
その他工事	99
商品販売	19
計	3,984



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

第56期株主通信をお届けするに当たりご挨拶申し上げます。

建設業界におきましては、政府建設投資はほぼ横ばいで推移し、民間建設投資は日銀のマイナス金利政策による金利の低下で住宅建設投資が増加したことから堅調に推移しました。

このような状況の下、当社は営業展開の強化をはかり、また施工人員の確保に注力し、引き続きコスト低減に取組み、受注量の確保と収益性の改善をはかってまいりました。

第57期事業年度は、一層の技術の向上をはかるとともに、当社が持つ強みを更に強めていくことで事業拡大の基盤創造の年度とし、「技術開発の促進及び新たな技術導入による効率化」「提案営業強化による市場の創造」「徹底したコスト管理」「人材確保と施工体制強化」を4つの経営テーマとして、企業価値の向上に取組んでまいります。

今後とも株主・投資家の皆様におかれましては、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

■第56期事業の概況

□ 受注高



■ 受注高(気泡コンクリート工事内訳)



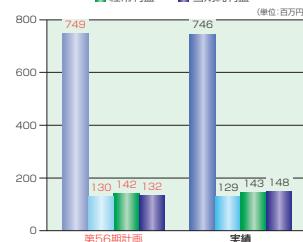
□ 売上高



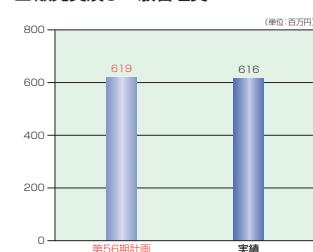
■ 売上高(気泡コンクリート工事内訳)



□ 各利益



□ 販売費及び一般管理費



■次期の見通し

第57期事業年度の建設業界におきましては、民間建設投資は金利の低下を受けた住宅や工場・店舗の着工が落ち着き減少すると見られ、また政府建設投資も減少すると見られております。

専門工事業者である当社にとりましては、建設労働者の不足感が根強い中、引き続き受注価格競争も予想され、厳しい経営環境が続くと思われませんが、営業展開の効率化をはかり、受注量の確保と施工効率の向上に取組み、収益性の改善に努めてまいります。

次期の業績につきましては、主力の気泡コンクリート工事が軽量盛土工事を中心に需要が見込まれ、また地盤改良工事も堅調な受注が見込まれることから、受注高4,700百万円(当事業年度比19.2%増)、売上高4,700百万円(当事業年度比18.0%増)、営業利益140百万円(当事業年度比7.8%増)、経常利益146百万円(当事業年度比1.7%増)、当期純利益95百万円(当事業年度比36.1%減)を見込んでおります。

(注) 上記の予想は、本株主通信作成時において入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご承知おください。



代表取締役社長
花岡 浩一

財務諸表（要約）

貸借対照表

(単位：千円)

区 分	第55期 平成28年3月31日現在	第56期 平成29年3月31日現在	増減額 (対前期)
資産の部			
流動資産	2,251,501	2,022,686	△228,815
固定資産	1,440,111	1,547,923	107,812
有形固定資産	1,283,363	1,325,458	42,095
無形固定資産	5,633	22,590	16,957
投資その他の資産	151,114	199,875	48,761
資産合計	3,691,612	3,570,610	△121,002
負債の部			
流動負債	1,625,099	1,422,069	△203,030
固定負債	686,547	648,450	△38,097
負債合計	2,311,646	2,070,519	△241,127
純資産の部			
株主資本	1,386,031	1,500,501	114,470
資本金	209,200	209,200	-
資本剰余金	180,400	180,400	-
利益剰余金	997,961	1,112,431	114,470
自己株式	△1,529	△1,529	-
評価・換算差額等	△6,066	△411	5,655
純資産合計	1,379,965	1,500,090	120,125
負債・純資産合計	3,691,612	3,570,610	△121,002

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位：千円)

区 分	第55期 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)	第56期 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	増減額 (対前期)
売上高	3,831,625	3,984,497	152,872
売上原価	3,133,339	3,237,656	104,317
売上総利益	698,286	746,841	48,555
販売費及び一般管理費	576,959	616,964	40,005
営業利益	121,326	129,876	8,550
営業外収益	26,556	23,579	△2,977
営業外費用	9,885	9,900	15
経常利益	137,998	143,554	5,556
特別利益	374	399	25
特別損失	-	0	0
税引前当期純利益	138,373	143,954	5,581
法人税、住民税及び事業税	23,200	40,910	17,710
法人税等調整額	△9,157	△45,562	△36,405
当期純利益	124,330	148,607	24,277

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

区 分	第55期 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)	第56期 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	増減額 (対前期)
営業活動による キャッシュ・フロー	372,887	△15,933	△388,820
投資活動による キャッシュ・フロー	△45,234	△46,134	△900
財務活動による キャッシュ・フロー	△35,322	△188,940	△153,618
現金及び現金同等物 の増減額(△は減少)	292,329	△251,008	△543,337
現金及び現金同等物 の期首残高	690,865	983,194	292,329
現金及び現金同等物 の期末残高	983,194	732,186	△251,008

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

(単位：千円)

第56期 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	株主資本										純資産 合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	評価・換算差額等		
		資本 準備金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計			その他 有価証券 評価差額金		評価・ 換算差額 等合計
					別途 積立金	繰越利益 剰余金						
当期首残高	209,200	180,400	180,400	24,050	985,000	△11,088	997,961	△1,529	1,386,031	△6,066	△6,066	1,379,965
当期変動額												
剰余金の配当						△34,138	△34,138		△34,138			△34,138
当期純利益						148,607	148,607		148,607			148,607
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)										5,655	5,655	5,655
当期変動額合計	-	-	-	-	-	114,469	114,469	-	114,469	5,655	5,655	120,124
当期末残高	209,200	180,400	180,400	24,050	985,000	103,381	1,112,431	△1,529	1,500,501	△411	△411	1,500,090

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

■ 第56期決算のポイント

ポイント①受注高

気泡コンクリート工事全体の受注高は、前事業年度比11.1%減となりました。内訳は、気泡コンクリート工事の中で市場規模が大きい軽量盛土工事が22.6%増となりましたが、管路中詰工事が大型工事の需要が一巡し端境期を迎えたことなどで64.8%減となり、また空洞充填工事も2.6%減となりました。

地盤改良工事におきましては、大型工事の受注が順調に推移し、前事業年度比5.5%増となりました。

ポイント②完成工事高

受注高が減少した空洞充填工事の完成工事高が5.2%減となりましたが、軽量盛土工事の完成工事高が受注高の大幅増や順調な施工により、前事業年度比13.4%増となり、受注高が大幅に減少した管路中詰工事の完成工事高も前事業年度からの繰越工事が多かったことから前事業年度比1.0%増となり、気泡コンクリート全体の完成工事高は2.961百万円(前事業年度比6.0%増)となりました。

一方、地盤改良工事の完成工事高は、工期の関係で完成工事高が904百万円(前事業年度比10.0%減)となりましたが、工事全体の完成工事高は前事業年度比4.1%増となりました。

ポイント③完成工事総利益

地盤改良工事の完成工事総利益率が、受注価格競争の激化から前事業年度に比べ1.9ポイント悪化しましたが、気泡コンクリート工事の完成工事総利益率が、空洞充填工事の受注単価の好転や軽量盛土工事の施工効率の向上により、前事業年度に比べ1.2ポイント改善したことで完成工事高の減少を十分にカバーし、工事全体の完成工事総利益は前事業年度比6.5%増となりました。

ポイント④営業利益

研究開発費増による販売費及び一般管理費の増加(前事業年度に比べ40百万円増)がありましたが、完成工事総利益率の改善により完成工事総利益が増加したことから、営業利益は前事業年度比7.0%増となりました。

ポイント⑤当期純利益

当事業年度におきましては、繰延税金資産を計上したことにより法人税等調整額が調整されたことで、法人税等合計が前事業年度に比べ18百万円減少し、当期純利益は前事業年度比19.5%増となりました。

トピックス

●研究開発活動

【高流動エアモルタルの開発】

従来のエアモルタルを改良し、材料分離を最小限に抑えた流動性の高いエアモルタル（仮称：エアスラー）を開発しました。長距離圧送や圧送用配管の布設が困難な狭小箇所の充填に威力を発揮しますので、今後の営業活動の支援材料として期待しております。

[性能確認試験]



[硬化後の状況]



【NLG工法のNETIS登録と特許出願】

第55期事業年度に試験施工を行い、NETIS（国土交通省の新技术提供システム）に登録申請していたNLG工法が平成29年2月に登録されました（NETIS登録番号：KT-160140-A）。同時に、同工法で使用する「ミキシングユニットおよびグラウト充填方法」の特許を出願しております。今後は施工実績を積み重ね、同工法の普及に注力してまいります。

●NLG工法のご紹介：

非エア系グラウト材を使用し、トンネル等の背面空洞や構造物と地山との空洞の充填を目的に長距離圧送を可能にした工法です。

[長距離圧送試験]



[水分離抵抗性試験]



[充填性確認試験]



■ 会社概要 (平成29年3月31日現在)

会社名	麻生フォームクリート株式会社
本社所在地	神奈川県川崎市中原区苅宿36番1号
従業員数	87名
設立	1961年(昭和36年)6月1日
資本金	2億920万円
事業内容	気泡コンクリートの現場施工 地盤改良工事の施工 その他工事の施工及び工事施工用資材 (起泡剤等)の商品の販売

■ 役員 (平成29年6月28日現在)

代表取締役社長	花岡 浩一
取締役	河村 洋介
取締役	福原 章介
取締役	長谷川 隆敏
取締役	杉山 嘉則
常勤監査役	阿部 新太郎
監査役	沼田 紳介
監査役	大瀨 理
監査役	大木 章史

■ 株式の状況 (平成29年3月31日現在)

■発行可能株式総数	普通株式	12,080,000株
■発行済株式の総数	普通株式	3,413,806株 (自己株式6,194株を除く)
■一単元の株式の数		1,000株
■株主数		606名 (うち議決権を有する株主数254名)

■大株主

株主名	所有株式数(株)	所有株式数の割合(%)
株式会社麻生	1,420,000	41.59
株式会社麻生地所	400,000	11.71
麻生商事株式会社	300,000	8.78
宗教法人萬福寺	240,000	7.03
川島裕樹	102,000	2.98
株式会社三井住友銀行	60,000	1.75
株式会社福岡銀行	60,000	1.75
株式会社西日本シティ銀行	60,000	1.75
麻生フォームクリート従業員持株会	50,400	1.47
麻生興産株式会社	40,000	1.17

(注) 所有株式数の割合は自己株式(6,194株)を控除して計算しております。

● 主な工事経歴

注文者	工事名
日鉄住金パイプライン&エンジニアリング株式会社	古河・真岡幹線 ガス管理設工事(A、B、C工区)
三井住友建設株式会社	新東名高速道路 中津川橋工事
林建設工業株式会社	常万地区道路改良工事
前田建設工業株式会社	新名神高速道路 切畑トンネル工事
株式会社大嶽名古屋	(仮称)春日井物流センター新築工事
東北建設株式会社	社会資本整備総合交付金事業(復興)河川改修(準用河川北原川)

● 事業所・営業所

東京事業所	神奈川県川崎市中原区苅宿36番1号
大阪事業所	大阪府茨木市沢良宜西4丁目15番14号
福岡事業所	福岡県糟屋郡須恵町大字須恵714番地1
札幌営業所	北海道札幌市中央区北一条西16丁目1番地27 北海道たばこ会館ビル4F
東北営業所	宮城県仙台市太白区泉崎1丁目32番20号 プレミア泉崎102号室
東京営業所	東京都千代田区内幸町1丁目1番7号 NBF日比谷ビル15F

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬

基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
及び特別口座の 三井住友信託銀行株式会社
口座管理機関

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話0120-782-031 (フリーダイヤル)

○住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

○未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

○「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

ホームページのご案内

麻生フオームクリートはホームページ上でも各種IR情報を発信しております。ぜひご利用ください。

<http://www.asofoam.co.jp/>



 **麻生フオームクリート株式会社**

神奈川県川崎市中原区荻宿36番1号

お問い合わせ先 TEL044-422-2061(代表) 財務経理部